

**「第3次山形県科学技術政策大綱」の変更・訂正について**  
**(第2回会議からの変更点)**

意見、指摘等	対応	表現の訂正等
現在の科学技術政策大綱の目標値の設定期間がわからない。	目標値を達成するための期間を明記	P2、表〈第2次科学技術政策大綱での目標指標と実績値〉の目標値に年間か累計かを記載。
IOE(Internet of Everything)の視点も重要。	追加	P3、〈ICTの発展〉部分にIOEについて記述。 P4、補足説明にIOEを追加。
少子高齢化について、暗い部分しか示されていない。	表現の一部追加	P5、女性や高齢者の活躍促進について記述を追加。 P28、シニア層の活用について記述。
総論、産業競争の部分にTPPの記述を入れた方が良い。	追加	P6、TPPの記述を追加。 P11、TPPの進展を反映し、表現訂正。
第5期科学技術基本計画が策定された。	記述変更。	P7、P9、閣議決定された第5期科学技術基本計画に沿って、記述等を変更。
目標相互間の繋がりが分かりにくい。目標の縦割り感がある。	表現の追加。	P10、基本目標が相互に関係していることを踏まえて施策展開を図ることを追加。
“研究機関の不正行為”は、ネガティブな表現。	表現の訂正	P12、P27について、「研究の公正性確保、維持」により記述。
幼少期からの科学する心を育てることが大切。	表現の追加。	P13、P28“幼少期から”の表現を追加。
若者の定着において、人材を山形県に呼び込むことについての表現を工夫してどうか。	表現の訂正。	「地元」を「県内」に訂正し、山形県にUIターン人材を呼び込むことをより明確に示し、変更。（“地元”だとIターンの人材の場合に山形県を指すのか明瞭でない）
若者定着のための具体策の追加	表現の追加	「山形若者定着奨学金返還支援事業」について、記述。

意見、指摘等	対応	表現の訂正等
外国人研究者の誘致についても考えるべきでは。	記述の追加。	P14、P31、外国人研究者の受け入れ環境整備の観点を記述。
山形の「強み」について良くわからない。	表現の訂正	P10、P15、「強み」に係る表現を訂正。
「育成者権」について記載した方がよい。	記述の追加。	P16、育成者権について記述し、補足説明を加えた。
大学、地域との連携は重要。	記述の変更、訂正。	P18、“連携”に係る表現の訂正。
「重点推進方策」が位置付けを明確にする必要がある。	説明文の記載。	P20、重点推進方策について、補足説明を加えた。
農産物の海外展開を支援する研究開発が必要では。	記述の追加。	P24、海外輸出に係る研究として実施している、果実関連の取組みを記載。
“県有特許の実施料収入”を重要業績評価指標(KPI)にしているのを見直してはどうか。	見直し	P39、KPIを「知財専門家による特許等関連支援件数」に変更。 ◆知財相談窓口における県内企業と弁理士・弁護士等の知財専門家による支援(活用)件数 88件/年間(H26)→250件/年間(H32)
表現の訂正、統一等	訂正	言い回しの訂正、記述の統一等。 本文、下線部。